



令和2年度 三重県障がい者芸術文化祭

今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、ステージ発表・表彰式典は行わず、作品展示のみとします。なお、来場者把握のため、事前申込み制(予約制)とします。

※新型コロナウイルス感染拡大の状況により展示方法を変更することがあります。

ステージ発表について、ネット配信についても検討しています。希望者は下記の応募期間中に事務局までご連絡ください。

◆開催日時

令和2年11月27日(金) 10時～16時
11月28日(土) 10時～12時

◆会場

松阪市クラギ文化ホール・
子ども支援研究センター体育室
〒515-0818 三重県松阪市川井町690番地

◆応募資格

三重県内に住所を有する障がいのある方

◆募集内容 作品展(個人作品は各賞を選考)

- ・作品は1人1点(未発表の作品に限る)
絵画、写真、書道、陶芸、手芸、工芸(版画・彫刻含む)、貼り絵・CG、俳句
- ・作品規格は募集パンフレット参照
- ・特別支援学校コーナー
- ・共同作品コーナー



◆応募方法

募集パンフレットの応募用紙により、事務局へ郵送、FAXまたはメールにて申し込む。

部門別に優秀賞を選定し表彰する。

三重県知事賞、三重県議会議長賞、松阪市長賞、実行委員会賞、奨励賞被表彰者には賞品を贈呈する。

※応募用紙はホームページからもダウンロードできます。

◆応募期間(申込書を受け付ける期間)

令和2年9月1日(火)～9月30日(水)(必着)

第35回国民文化祭・みやぎ2020
第20回全国障害者芸術・文化祭みやぎ大会
※令和3年7月上旬～10月中旬に延期になりました。

キャッチフレーズ:

山の幸 海の幸 いざ神話の源流へ

◆作品の搬入・搬出

搬入: 令和2年11月25日(水) 9時30分～16時
搬出: 令和2年11月28日(土) 14時～17時
新型コロナウイルス感染症対策の3密を避けるため、事務局で搬入・搬出時間を指定させていただきます。当日、搬入・搬出できない方は事務局へ問い合わせして下さい。

◆事務局(送付先・問い合わせ先)

三重県障害者社会参加推進センター内
三重県障がい者芸術文化祭実行委員会
(公益社団法人 三重県障害者団体連合会)
〒514-0113 津市一身田大古曾670-2
TEL 059-232-6803 FAX 059-231-7182
E-mail: suishin.c@mie-kensinren.or.jp

サブタイトルも同時募集

(障がいの有無は問いません。)

応募資格: 三重県内に住所のある方

募集内容: 障がい者芸術文化祭を表し、親しみやすい内容で20字以内。自作で未発表のものに限ります。作品募集とは別に1人3点まで応募できます。

応募方法: 募集パンフレットの応募用紙、はがき等にサブタイトル、住所、氏名、年齢、電話番号、FAX番号等を記入のうえ応募してください。

※選考されたサブタイトルは印刷物や広報媒体等において広く活用する予定です。採用された方には記念品を贈呈します。

平成29年度

触れてみて 芸術文化の 明日の夢

平成30年度

届けよう!!夢と想いをアートに乗せて

令和元年度

みんなの令和 つなげよう みんなの絆

三重県障害者社会参加推進協議会団体

三重県障害者団体連合会

元号が令和に変わり2年目となる今年は、昨年末からの新型コロナウイルスの世界的な感染拡大により、各国ではロックダウンによる外出制限等、日常生活はもとより世界経済に波及する事態となっています。日本においても4月7日に緊急事態宣言が7都府県に発令され、16日には全国に拡大されました。

いつ感染するかわからない不安な状況下、国・県等の感染予防に対するイベントや集会の自粛要請により、6月に予定されていた日本身体障害者福祉大会ひろしま大会も中止されました。私たち県障連も理事会や総会等について、延期やリモートによる開催をするなどてんでこまいな状況です。

イベントにおいても中止や延期を決定していますが、新型コロナウイルス感染が収束したら、会員の皆さま方とお会いし、事業の再開を楽しみにしています。そのためにも感染防止に心がけ、お体に気を付けてください。

最後に、新型コロナウイルスを理由とした、差別が多く報告されています。障がい者団体としていかなる差別に対しても反対し、誰もが暮らしやすい共生社会の実現に向け活動していきます。

会長 世古 佳清

事務局 ☎ 059-232-6803 F AX 059-231-7182

三重県精神保健福祉会

三家連精神保健福祉研修会の開催

精神障がい者を抱える家族をとりまく動きは障害者権利条約から、障害者差別解消法（2016施行）、精神障がい者の雇用義務化（2018年改正）など、大きく変化しつつあります。

しかしながら精神障がい者に対する根強い偏見や誤解は未だに広く残っており、当事者、家族は病気が直接関係する障がいに加え、更なる生活のしづらさを背負っています。研修会では、多くの地域の皆さんへ精神障がいに対する正しい知識の普及を図るとともに、精神障がいを持つ当事者・家族の方と交流する機会を設けることで、当事者の方々の持っている魅力やパワーを肌で感じていただきます。

多くの皆さんに、三家連精神保健福祉研修会を通して、精神障がい者に対する「新しい発見（正しい理解）」をする機会としていただくことを目的として

おります。

毎年6月に、三重県下主たる地域を順次巡りながら開催し、令和元年は名張市で第44回三家連精神保健福祉研修会を開催致しました。伊賀市・名張市から民生委員の方々、地域住民の方々にご参加いただき、精神障がい者に対しご認識・理解いただけたと思います。

令和2年度は桑名市において、桑名保健所圏域を中心に開催準備を実施してきましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止への対応で秋以降へ延期することと致しました。

精神障がい者への誤解・偏見と、他障がいとの差別・格差について

精神障がい者に対する誤解・偏見はまだまだ寝深いものがあります。特に統合失調症に対する誤解偏見です。家族の方々からの情報では、医療機関で受診を断られたり、不審者扱いを受け警察に通報されたり、アパートへの入居を断られるなど差別や偏見行為が見受けられます。これらについて前記研修会などで多くの皆さんに認識いただき、問題の解決へ取り組んでいます。

また医療費・公共交通費等、身体障がい・知的障がいとの差別・格差があります。

医療費については、身体障害者に対しては3級まで医療費の助成があり、知的障がいはB中まで助成があります。（一部例外があります。）精神については三重県の場合は1級の通院のみです。2級の医療費助成については各市町が夫々の立場で実施していただいておりますが三重県29市町中7市町の助成に留まっています。県内全域での助成を求めていきたいと思っております。

また、公共交通費等においても差別があります。例えばJR運賃、ほとんどの大手私鉄等についても精神は対象外になっております。しかし、西日本鉄道グループの交通運賃の割引、日本航空・ANAの航空運賃は全障がい同一割引を昨年より受けられており、徐々にではありますが改善されています。公共交通費等の格差是正については、全国レベルで取り組んでいきます。

NPO法人 三重県精神保健福祉会（さんかれん）

理事・事務局長 川北 秀成

事務局 ☎・FAX 059-271-5808

E-mail:sankaren@mint.or.jp



三重県聴覚障害者協会

2019年度当協会の会員数は2018年度の309名より8名増の317名、これはうれしいニュースであります。

各専門部では、組織部（各地域協会活動情報交換会）、文化事業部（単発事業、三重ろう者文化祭）、社会福祉部（福祉フォーラム）、体育部（県・東海・全国の体育大会、スポーツレクリエーション）、高齢部（茶話会3回、講演会、敬老会、1泊新春会）、青年部（BBQ、講演会、ミニ手話教室）、女性部（交流会、ワークショップ、みえ女性フォーラム、模擬店活動）が計画通り実施できました。それぞれの交流を促進し、参加者同士の情報共有や、お互いの親睦を深めることができました。三聴障協の恒例事業や各専門部の活動、関連団体との共催が無事に実施できたことが2019年の功績でもあります。

他の実績では、災害救援みえ本部（三重通研、県サ連との共催）が「聴覚障害者版クロスロードゲーム」（カードを用いたゲーム形式による防災教育教材）を完成し、全国に公開しました。

また、三重とこわか大会の情報支援ボランティアのリーダー養成講座を実施、73名が修了しました。

2012年三重県聴覚障害者支援センターを設立して8年目（2回目の指定契約。3年と5年）に入りました。養成事業では、『三重県盲ろう者通訳・介助員養成講座』『要約筆記者養成講座』、津・伊勢の2会場で『手話通訳者養成講座』をそれぞれ実施でき、手話通訳者全国统一試験と全国统一要約筆記者認定試験の合格発表があり、三重から11名（手話通訳者6名、要約筆記者5名（手書4名、PC1名））が合格されました。今後一人でも多くの方が意思疎通支援者として活躍されることを期待しています。

2020年度は、交流やコミュニケーションの不足・情報の不足によって人間関係での問題が生じる聴覚障害児やろう高齢者、若者たちへの支援活動を続けます。現在、新型コロナウイルス感染症や災害等緊急に関する情報に聴覚障害者への配慮が欠けている現状なので、情報保障の確保を求めています。

手話カレンダーは皆さまのご協力、ご支援のおかげで社会貢献も果たしており、私たちが胸を張れる事業の一つです。オリジナルグッズや販売品を考案し、活動費や補助金等に充てられるように本年度もチャレンジしていきます。

定期的に発行している当協会の機関紙「みえデフNEWS」、日々の活動報告などをアップしている「みえデフBLOG」に行事等の内容を掲載して周知し、

参加意欲を高めるとともに新たな仲間を増やしていくことを支援していきます。

2021年「三重とこわか国体・大会」の開催を成功させるために、当協会は「情報支援ボランティア」を多く育成していきます。私たちが常に手話や言葉を見る・聞く・使う・守ることを県民に普及し、きこえない人の手話言語の獲得や、手話言語の自由な使用が保障されるよう、相互にご協力をお願いしたいと思います。

活動の幅がだんだん広がっており、今年度も安心して運営することは大変なことであります。その問題を認識しつつもさらに資質を向上できると確信し、様々な壁に立ち向かい乗り越えていけるように頑張ります。引き続き、ご指導とご鞭撻のほどよろしく願います。

事務局 ☎ 059-229-8540 FAX 059-223-4330

E-mail:deaf.mie@viola.ocn.ne.jp

HP <http://deafmie.cocolog-nifty.com/blog/>

三重県視覚障害者協会

本協会は、県内の視覚障害者で構成されており、協会本部事業の予算執行のほか、県の施設である三重県視覚障害者支援センターの指定管理者として、センターの管理運営を行っています。

こうしたセンター事業については、毎年度当初に県と年度協定書を締結して、それに基づき、的確に予算執行しております。令和元年度の予算執行状況を確認していただけるよう、設定された12項目について、目標内容、目標値、実績値の順に以下のとおり記載しました。

①図書貸出タイトル数

目標78,000タイトル、実績88,843タイトル

②生活訓練参加者数

目標490人、実績602人

③図書の新規製作編集タイトル数

目標300タイトル、実績357タイトル

④図書だより発行回数

目標6回、実績12回

⑤点訳奉仕員養成講習（初級）開催日数

目標5日、実績6日

⑥点訳奉仕員養成講習（初級）修了者数

目標20人、実績11人

⑦点訳奉仕員養成講習（中級）開催日数

目標20日、実績20日

⑧音訳奉仕員養成講座開催日数

目標40日、実績40日

⑨音訳奉仕員養成講座修了者数

目標20人、実績21人

⑩奉仕員スキルアップ講習会出席者数

目標330人、実績63人

⑪県政だより点訳版・録音版発行回数

目標12回、実績12回

⑫みえ県議会だより点訳版・録音版発行回数

目標7回、実績7回、達成率100%

令和2年度からも、こうした評価認識のもとで、センター運営に注力していきますので、センター利用者の皆さんから引き続きサポートもいただきますよう、改めましてよろしくお願い申し上げます。

一方、協会本部事業については、令和2年度の事業計画の中で、以下のような前文を記載しています。

「社会福祉法人三重県視覚障害者協会は、視覚に障害のある人たちの特性や行動を深く理解しており、視覚障害者が個人の尊厳を保持しつつ、自立した生活を地域社会において営むことができるよう支援することを目的としています。

しかしながら、特に近年は、地域生活における高齢化や障害の重度化や情報通信の高度化などを背景に、会員数の減少や会員であることの意義の低下などが急速に進展しています。その一方で、中途視覚障害やロービジョンなど、多様な視覚障害の占める割合が年々高くなってきており、視覚障害者ひとりひとりのニーズに的確に対応していく必要性は今までになく高まっています。

こうしたなかで、当協会は、これまでの経験を活かすとともに、視覚障害者支援の役割の重要性を再認識し、新たな重要なニーズにもしっかりと対応できるように、様々な関係団体や関係機関、そして社会福祉行政及び点訳・音訳ボランティアをはじめとする一般県民と緊密に連携・協働しながら、限られた予算制約のもとで、必要な事業を適切に実施していくことが求められています。」

こうしたなかで、協会の初めての試みとして、「国際白杖の日」10月15日には、津駅前街頭啓発活動を予定しています。こうしたことも含め、県内視覚障害者を取り巻く新たな社会環境を十分に認識したうえで、協会本部事業を的確に執行してまいります。

社会福祉法人 三重県視覚障害者協会

三重県視覚障害者支援センター

〒514-0003 津市桜橋二丁目131番地

☎ 059-228-3463

ホームページ <http://www.zc.ztv.ne.jp/mieten/p/>

三重喉友会

当会は昭和30年に創立され今年で65年目になり、現在会員数は90名です。種々の疾患のため喉頭や食道の摘出手術を受け、発声機能を失った方々のための患者会です。その方々が、発声教室で訓練をして日常会話が出来るようになり、社会や職場に早く復帰されることが目的です。

このほか、会員同志の健康相談や親睦の場としても活発な活動をしています。このような患者会は全国にあって、NPO法人日本喉摘者団体連合会に加盟しており、各団体は互いに情報を交換しながら協力しています。

◆発声教室

毎月県内の病院で開催しています。

- ・北勢地区 市立四日市病院1階 11会議室
第1水曜日 13時～16時
- ・中勢地区 三重大学附属病院南館12階
三医会ホール
第3木曜日 10時～13時
- ・南勢地区 伊勢赤十字病院1階 山田ホール
第2木曜日 10時～13時
- ・東紀州地区（偶数月）
尾鷲総合病院1階 母親教室
第4木曜日 10時30分～13時
- ・会員の方は自由にお近くの教室に参加して下さい。

◆研修会

- ・発声指導員養成のための研修会が、毎年3日間行われ一般会員の方も参加できます。
- ・県外から発声指導のために講師を招き、集中的な訓練により成果が上がる研修会も行っています。

◆総会（発声教室、研修会）

毎年春に三重大学附属病院で開催されます。発声訓練の成果として「発声コンクール」を行います。

◆一泊研修旅行

先輩からの手術後の体験談や、会員の悩み等を話し合ったりして親睦を深めています。

会員による発声コンクール（カラオケ大会）を行います。

◆出前授業

三重県教育委員会からの要請で県内の小・中・高等学校の生徒対象に「がん教育」として三重県内の病院の教授、医師と共にごん体験者としての講演をしています。

◆三重県がん相談支援

三重県がん相談支援事業の一環として、三重喉友会もがん患者団体としてサポーター協力しています。

事務局 ☎・FAX 059-261-5257 (塚本明雄)
Eメール aki0350@zb.ztv.ne.jp

日本オストミー協会三重県支部

日頃はオストメイトの福祉向上にご支援・ご協力を戴き有難うございます。

令和元年度の行事として「新入会員研修会」を2月22日(土)にアスト津で開催しました。

しかし、その後発生した新型コロナウイルス(COVID-19)感染予防のために本年度計画行事のうち前半の行事は中止せざるを得ませんでした。今後の行事は、COVID-19の感染状況を注視して開催の可否を決定していきます。開催の場合は、その都度開催案内でお知らせします。

「三密」を実践してCOVID-19を予防するとともに、暑さによるストーマ周囲の炎症等ストーマケアに充分にご注意願います。

【令和2年度の行事】

- ・2月22日(土)「新入会員研修会」…実施済み(令和元年度行事) 会場：アスト津 13時～
- ・5月「支部総会・春の研修会」…中止
- ・7月「一泊研修会」…中止
- ・10月「秋の研修会」 会場：アスト津 13時～
…開催可否検討
- ・11月「一泊研修会」 会場：鳥羽市内ホテル
…開催可否検討
- ・令和3年3月「新入会員研修会」
会場：アスト津 13時～

中止した行事の代替え行事等の実施の可否も検討していきます。

オストメイトは、ご家族のご協力があって初めて快適なストーマ生活が過ごせます。研修会等の行事にご家族でのご参加を歓迎いたします。

- ※注 (1)オストメイト…ストーマを造設した人。
(2)ストーマ…腹部に造設した人工肛門・膀胱。

支部長 ☎ 059-346-2589 (溝川紳一)
事務局 ☎ 059-226-5201 (在間敏明)



三重心臓を守る会

<今年度の活動について>

三重心臓を守る会では、救急法を学ぶ講習会や、各地域での相談会、機関紙こころchanを発行のほか、会員同士の親睦を深めるためのキャンプやクリスマス会など、さまざまな活動を行っています。

今年度は、新型コロナウイルスの感染拡大が世界的に広まっている影響で、これ以上の感染拡大を防ぐことを患者団体としても努めていくという意味で2020年度前半に予定をしておりました各種行事を、現段階では自粛せざるを得ないと考え、活動は未定となっております。

先天性心臓病のお子さんをお持ちの方、新型コロナウイルス等で不安なことがありましたら一人で悩まないで、一度お電話下さい。お問い合わせ、ご入会お待ちしております。

1日も早い事態の収束を願いながら、一緒に今を乗り切りましょう。

事務局 ☎ 059-255-4661 (西村信子)

三重県肢体不自由児者父母の会連合会

◎令和元年度主な事業実績

①県肢連福祉研修大会及び療育キャンプ

- ・期 日 11月3日(日)～4日(月)
- ・場 所 鳥羽シーサイドホテル
- ・研修テーマ「こどもの人生と親がしておくべき事」
- ・参加者 46名

②障がい者社会参加促進事業

- ・期 日 9月29日(日)
- ・場 所 セントレア・フライトオブドリーム、めんたいパーク
- ・参加者 47名

◎令和2年度主な事業計画

(1)県肢連福祉研修大会及び療育キャンプ

- ・期 日 コロナウイルス感染拡大防止のため未定
- ・場 所 鳥羽市内
- ・テーマ 「大規模災害時の対応(福島に学ぶ)」

(2)障がい者社会参加促進事業

- ・期 日 11月15日(日)
- ・場 所 セントレア・シアトルテラス

☆今年度は、コロナウイルス感染拡大防止のため、全国的に殆どの事業計画が中止決定されました。過去に体験したことのない事態であり、子供たちの健康・精神状態、そしてそれを支える家族に大いなる

三重県知的障害者福祉協会

平素は、障がい者社会参加促進事業を通じ、当協会の事業・活動にご理解とご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。

昨年5月、平和の継続と障害福祉の更なる発展に期待が寄せられ令和時代がスタートとしました。

しかし、2年目を迎えた令和も今年に入るやいなや新型コロナウイルス感染症が我が国においても流行し、緊急事態宣言が発令されるほどに全国に感染が拡大する事態となりました。

この事態は日本の経済活動にも大きな打撃を与え、国民生活の日常に脅威をもたらしています。

この間、私たちの仲間である障害者支援施設においても入所されている方や職員の方の大多数が感染するというクラスターが発生しました。

現場では感染者の治療や利用者の日常生活支援、感染拡大防止の取組、感染した職員の代替確保、施設に向けられた誹謗・中傷への対応など想像を絶する混乱が続く中、残された職員の献身的な働きや関係自治体・医療機関の援助、近隣施設の応援などによって、ようやく日常を取り戻しつつあるとのこと。

県福祉協会においてもこうした事例の教訓に学び、会員施設・事業所での感染防止のための取組強化を図るとともに利用者の方々の暮らしの日常が継続できるようそれぞれの現場で工夫していくこととしています。

現下の状況では今年度の事業計画に基づく活動を推進していくことは叶わず、当面10月末までは活動の自粛に努める方向性を出しています。

いずれにしても利用者の方々の命と健康を守り、安心のある日常を取り戻すために協会会員をはじめ行政機関や関係団体の皆さんと連携を図りながら共にこの状況を乗り越えていきたいと考えております。

引き続き皆様のご指導、ご支援を宜しくお願いいたします。

会長 近藤忠彦

事務局 ☎ 059-268-1115 (まもり苑・本弘)

三重県脊髄損傷者協会

思いもよらぬ新型コロナウイルス感染症により、日常生活に制限がわかり大変な事態となっています。この夏に開催予定であったオリンピック・パラリンピックが延期になり楽しみにしていた皆さんや、出場を

疲弊が見受けられるようになっていきます。日本はもとより世界的に早々の終息宣言がなされることを切に祈っています。このような状況ですが、何よりも子供達や私たちの健康を第一に取り組んでいきます。

◇当会の活動等、詳しく知りたい方は下記へ

県肢連会長 鈴木錠平 ☎・Fax 059-333-0005

三重県重症心身障害児(者)を守る会

拝啓 季節は早くも7月を迎えましたが、コロナにはいまだ気が抜けない状況であります。早い終息に向かって共に頑張っていきたいと思います。

さて、私達三重県重症心身障害児(者)を守る会も今年2月より活動が制限され、各会合が全て中止となり、今に至ってしまいました。

計画されている今年度の活動方針は例年通りとしていますが、総会も開けないので、緊急事態対応という事で今年限りにおいて、私の判断で、方針を郵送にて連絡し決定しました。

主な方針は、第47回医療講演会の実施、熊野一泊研修会、在宅巡回訪問の計画、また、母親部会に於いては、障がい者親の会との交流を行行情報交換をします。

さて、私達三重県重症心身障害児(者)を守る会は、守る会の三原則である

- 1、決して争ってはいけない、争いの中に弱い者の生きる道はない。
- 2、親個人がいかなる主義主張があっても重症児運動に参加する者は党派を超える事。
- 3、最も弱いものをひとりもれなく守る。

以上の原則をこれからも私達三重県重症心身障害児(者)を守る会の活動の根底に置きながら行動してまいります。

三重県の基礎自治体、県庁、各団体に直接働きかけを行いながら、そして文科省、厚労省に対し本部を通して皆様のご意見を伝え地道ながら約半世紀行動した結果が今出てきたと確信しております。また、社会の意識が変わってきた事も確信しています。これからも地道に子供達が社会の一員として存続する為にも、皆さまのご理解いただけますよう活動してまいります。

会長 ☎・FAX 0596-23-0216 (山本静雄)



目指している方には来年の開催に向けて希望を持ち続けて欲しいと思います。

世の中の様々な行事が中止又は延期になり活動が停滞しています。私達障がい者福祉活動も同じく外出自粛制限で思うようになりません。また、この状況下で新たな問題も発生しています。

脊髄損傷者は、新型コロナウイルスに感染すると重症化し、その中で頸髄損傷の方は命に関わると言われています。

外出制限の中でインターネット会議が盛んになり、移動障害の脊髄損傷者がこれを使うと新しい世界ができる可能性があります。

私達の主な活動は同じ障がいを持つ者同士によるピアカウンセリングですが、現在は電話での対応とさせていただきます。

事務局 ☎ 059-386-9733 (松田)

三重県身体障害者総合福祉センター

三重県身体障害者総合福祉センターは県の指定管理により「障害福祉サービス事業所」と「身体障害者福祉センターA型」を運営しています。

障がい福祉サービス事業所としては、脳血管障がいや交通事故などで肢体不自由や高次脳機能障がいのある方に対して自立に向けた入所・通所による支援を実施し、これまで多くの方々が単身生活や就労などの地域生活に移行されています。具体的には機能回復を目的とした「医学的リハビリテーション」社会生活力向上のための「社会リハビリテーション」復職や新規就労を目的とした「職業リハビリテーション」を実施しています。また、相談窓口として高次脳機能障がいの方への相談支援を行っています。

身体障害者福祉センターA型としては、各種相談の実施、介護保険・医療保険によるリハビリテーションの実施、障がい者スポーツの推進などを行っています。この内、障がい者スポーツについては、三重県障がい者スポーツ大会【陸上競技・フライングディスク・ボウリング・卓球・バレーボール（精神障がいの部）、ポッチャ】の実施、全国障害者スポーツ大会への選手団派遣などを行っています。また、2021年開催の全国障害者スポーツ大会「三重とこわか大会」に向けて選手育成、団体競技の強化、指導員・競技役員等の養成も行っていきます。団体競技の車いすバスケットボール、グランドソフトボール、聴覚障がい者バレーボール男女、知的障がい者ソフトボール、知的障がい者フットベースボール、知的障がい

者バスケットボール男女、知的障がい者バレーボール男女、精神障がい者バレーボールの選手を募集しています。未経験の方も歓迎していますので、スポーツを始めたい方、仲間作りをしたい方は、ぜひお問い合わせください。

事務局：三重県身体障害者総合福祉センター
☎ 059-231-0155 FAX 059-231-0356
HP <http://www.mie-reha.jp/>

三重難病連

三重難病連は現在21（2団体活動休止）の当事者団体で構成されており、三重県難病相談支援センター事業を県から受託して運営しています。

2月のRDD（世界稀少・難病性疾患の日）に合わせ、難病による障がい者の方やその家族、地域住民等を対象とした講演会・交流会を実施しています。

このイベントが難病患者と社会や地域住民とをつなぐ架け橋となり、稀少・難治性疾患の認知度向上になることを期待しています。

○疾患別相談(毎週火・木曜10時～16時)

三重難病に加盟している団体の相談員が療養相談や生活相談をお受けします。同じ病気の方々の悩みや、様々な問題について同じ立場で一緒に考え、問題解決のお手伝いをします。疾患によって担当日が決まっておりますので、詳しくは下記の三重県難病相談支援センターへお電話でお問合せ、またはホームページでご確認下さい。

○就労相談

三重県難病相談支援センターでは、就労支援の担当がお仕事に関するご相談を受けています。また、毎月第4水曜10時～16時には、ハローワークの難病患者就職サポーターによる相談・支援も実施しています。（☎ 059-223-5045）

○小児慢性特定疾病に関するご相談

お子様のご病気に関しての困りごと・お悩みについて、担当の相談員がご相談をお受けします。（☎ 059-223-5046）

【三重県難病相談支援センター】☎ 059-223-5035
<http://www.mie-nanbyo.server-shared.com/>

三重県立特別支援学校長会

平素は本県の特別支援学校の教育活動にご支援・ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。年度当初のご挨拶をここに一言述べさせていただきます。

本年度は、昨年度末からの世界規模での新型コロナウイルス感染拡大防止に係る国主導の学校の全面臨時休業に伴い、前代未聞の幕開けから始まりました。これまでに経験したことのない対応に小・中・高等学校はじめ全ての教育関係機関は右往左往する状況がみられていました。もちろん特別支援学校も対象でしたが、特別な配慮が必要な子どもたちにとっては、一般の学校以上にとっても厳しい状況が展開されていたと感じています。各学校では、家庭で一人で過ごせない子どもたちの居場所確保として受け入れ体制を取り、学校によっては毎日20名を超える人数を預かる状況が報告されていました。また、今回の臨時休業中、保護者から強い不安を申し出る声は少なく、これには福祉側の放課後等デイサービス事業所の近年の充実と支援体制が大きく関わっていたことは言うに及びません。福祉関係者の方々の多大な理解と協力が長期にわたる臨時休業中の家庭を救ったと感じ、感謝の気持ちでいっぱいです。6月1日から本県においては、各学校一斉に通常授業の本格再開となりましたが、各特別支援学校では3密防止のため、できうる限りの配慮をしたうえで子どもたちを受け入れています。再開はしたものの、まだまだ新型コロナウイルスの余波が残り、一学期の行事はほとんど延期か中止、夏休みも短縮するなど今後の対応が残されている状況です。また、今後のウイルス感染の動向によってはいつまた臨時休業となるかわからないため、得体の知れぬウイルスに対して、まだまだ気が抜けない状況が続きそうです。

さて、本年度、本県は令和2年3月31日に「三重県教育ビジョン」が策定され、令和5年度末までの4年間の新たな指針が発表されました。さらに、本県の特別支援教育の具体的な方向性を示した「三重県特別支援教育推進基本計画」も併せて改訂され、ここでは今後の特別支援教育全般について詳細に述べられています。これらをもとに我々特別支援学校長会は共生社会の実現に向けた取り組みを様々な面で積極的に展開してまいります。また、次年度に延期になった「東京オリンピック・パラリンピック」と同年開催となった「三重とこわか国体・大会」に向けての協力要請も本格的に始まり、今後はより具体的な動きになってまいります。

子どもたちの豊かな毎日の創造をめざし、我々、特別支援学校長会は各関係団体・機関の皆さま方のお力をお借りしながら、ますます充実した教育活動を進めてまいります。今後も皆さま方には特別な支援を必要とする子どもたちに関わって、様々な面でご

協力いただくことになると思います。本年度もどうぞよろしくお願い申し上げます。

事務局：松阪あゆみ特別支援学校
校長 中川悦子
☎ 0598-30-8170



ボランティア連絡協議会

令和2年も7月となりました。今までに経験した事のない緊張感と恐怖心の中で暮らさなければいけない日常生活です。

平素は当ボランティア連絡協議会の活動にご協力をご頂戴してありがとうございます。今年度の事業におきましても、現在の所、ボランティア関係者、すべての皆様の安全面を第一に考え一部活動の自粛をさせていただきます。

感染症に強い「新しい生活様式」を日常の中に取り入れ、この大変な局面を乗り切りたいと思います。

皆様とお会い出来る日が一日も早く訪れる事を願っています。

川瀬みち代

事務局：三重県ボランティアセンター
☎ 059-229-6634



独立行政法人高齢・障害・求職者 雇用支援機構三重支部

三重障害者職業センター

- ①一般企業で働くことを希望する障害のある方に対して、ハローワークや関係機関と連携し、就職への準備を整えるための相談・職業準備支援、就職した職場に適應するためのジョブコーチ支援、休職している方の職場復帰のための支援などの各種支援を行っています。
- ②事業主の方に対して、障害者雇用の進め方や雇用管理に関する相談・支援を行っています。
- ③障害のある方の就労支援を行っている関係機関の方に対して、就労支援に関する助言や研修などを行っています。

【お問合せ】津市島崎町327-1（ハローワーク津3階）
☎ 059-224-4726 FAX 059-224-4707

高齢・障害者業務課

- ①事業主の方に対して、障害者雇用納付金制度に基づく納付金申告書、調整金支給申請書の受付や相談を行っています。

②社会一般に障害者に対する理解と認識を深め、その雇用の促進を図るための啓発事業として三重県障害者技能競技大会（アビリンピックみえ）の開催等を行っています。

※日程：11月29日（日）にポリテクセンター三重（四日市市西日野町4691）において開催予定です。ご案内は、8月頃にホームページ等でお知らせいたします。

【お問合せ】津市島崎町327-1（ハローワーク津2階）
☎ 059-213-9255 FAX 059-213-9270

**令和2年度
三重県障がい者ふれあい交流事業
は中止になりました。**

厚生労働大臣杯全国身体障害者ゴルフ大会「ザ・チャレンジドゴルフトーナメント」は中止になりました。

【お問い合わせ】
NPO法人日本ザ・チャレンジドゴルフ協会
〒514-0077
三重県津市片田長谷町30番地
TEL 059-253-6605 FAX 059-237-3612
E-mail : challenged@tsu.co.jp



市町別手帳交付者数

（令和2年4月1日現在）（単位：人）

市町名	身障手帳 (児・者)	療育手帳	精神保健 福祉手帳 (3月末)	市町名	身障手帳 (児・者)	療育手帳	精神保健 福祉手帳 (3月末)
津市	10,906	2,425	2,700	東員町	875	155	145
四日市市	10,176	2,675	2,787	菰野町	1,363	356	275
伊勢市	5,143	972	996	朝日町	248	60	68
松阪市	6,491	1,427	1,364	川越町	361	100	111
桑名市	4,378	1,079	1,478	多気町	582	143	72
鈴鹿市	8,093	1,746	1,518	明和町	967	175	134
名張市	3,417	775	823	大台町	452	95	53
尾鷲市	1,107	158	112	玉城町	630	140	66
亀山市	1,873	370	315	度会町	368	58	34
鳥羽市	1,104	176	115	大紀町	525	72	67
熊野市	966	208	159	南伊勢町	1,014	138	88
いなべ市	1,678	386	266	紀北町	888	169	102
志摩市	2,384	371	392	御浜町	393	88	47
伊賀市	4,698	851	730	紀宝町	514	95	67
木曾岬町	213	48	43	その他	244	0	0
				県合計	72,051	15,511	15,127

令和2年度障がい者社会参加促進等事業

○三重県障害者社会参加推進センター委託事業

団体名	事業名
障害者団体連合会	障がい者相談員等研修
	身体障害者補助犬育成事業
	声の「ふれあい」発行事業
	地域レクリエーション教室
	ボウリング教室
	グラウンドゴルフ教室
	未婚障がい者出逢い支援事業
視覚障害者協会	地域レクリエーション教室
	グラウンドゴルフ教室
	視覚障害者ボウリング教室
	障がい別スポーツ大会選手育成強化事業
	全国フロアバレーボール大会東海地区予選

団体名	事業名
聴覚障害者協会	障がい別スポーツ大会選手育成強化事業
日本オストミー協会三重県支部	オストメイト社会適応訓練事業
心臓を守る会	心臓機能障がい者理解促進事業 (心のバリアフリー促進事業)
肢体不自由児(者)父母の会	肢体不自由児(者)交流会開催事業
脊髄損傷者協会	脊髄損傷者理解促進事業 (心のバリアフリー促進事業)
喉友会	音声機能障がい者発声訓練事業
	音声機能障がい者指導者養成研修事業
知的障害者育成会	レクリエーション教室

団体名	事業名
精神保健福祉会	精神障がい者啓発・研修事業 (心のバリアフリー促進事業)
難病連	難病による障がい者理解促進事業 (心のバリアフリー促進事業)

○三重県障がい者芸術文化活動支援センター委託事業

団体名	事業名
障害者団体連合会	障がい者芸術文化活動支援センター
	障がい者芸術文化祭開催事業

※新型コロナウイルス感染拡大の影響によって、変更・中止になる場合があります。

※新型コロナウイルス感染拡大の影響によって、変更、中止になる場合があります。



あなたも参加しませんか



☆三重県障害者団体連合会では、障がい者の社会参加を促進する各種事業を開催しています。

【事務局】公益社団法人三重県障害者団体連合会 〒514-0113 津市一身田大古曾670-2
TEL 059-232-6803 FAX 059-231-7182 E-mail:suishin.c@mie-kensinren.or.jp

月別	開催日	行 事	会 場
8月	29日(土)	仲間と学ぶふれあいの集い (障害者の体験発表とカラオケの集い)	【木曾岬町民ホール】
10月	24日(土)	身体障がい者交流レクリエーション ボウリング教室	【津グランドボウル】
	28日(水)		【桑名グランドボウル】
11月	8日(日)	三重県身体障害者福祉大会	【志摩市阿児アリーナ】
	27日(金)～28日(土)	三重県障がい者芸術文化祭	【松阪市クラギ文化ホール】
12月	19日(土)	障害者交通安全啓発事業(交通安全の研修会・啓発)	【いつきのみや地域交流センター(明和町)】
その他	10月、2月(第4日曜日)	未婚障がい者出逢い支援事業(結婚相談)	【三重県身体障害者総合福祉センター】

(注) 参加を希望される場合は、詳細について下記の連絡先までお電話ください。
開催日の1ヶ月前までに申し込んでください。(事前申込が必要です。)

三重県障がい者相談員等研修会開催

目 的

障がい者の社会参加と自立促進を目指すなかで、障がい者相談員等が一堂に会し、障がい者の人権や最近の諸問題などの情報提供を行い、地域で生活している障がい者を支援するため、相談対応能力の向上と相談員間の連携を図る。

日 時 令和2年9月9日(水) 受付13時～
開会13時15分

場 所 三重県人権センター 多目的ホール
〒514-0113 津市一身田大古曾693-1

参加者

- ①身体・知的・精神障がい者相談員
- ②県、市町、社会福祉協議会等の相談業務担当者等

- ③各市町障害者団体の長、保護者、家族会等の長
- ④障がい者、支援者等

参加人員 100名程度

※新型コロナウイルス感染拡大防止策として、3つの「密」を回避する為、参加人員を限定させていただきます。

参加申込

参加申込書に必要事項を記入のうえ事務局へ直接郵送又はFAX送信

申込期限 令和2年8月11日(火)

研修内容

内容は未定(後日、開催案内でお知らせします。)

じぶんの町を良くするしくみ。

赤い羽根共同募金



ご協力をお願い

日頃は温かいご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

当事業所は、社会福祉法人日本身体障害者団体連合会協賛のもと、全国的組織で福祉事業を実施しています。皆様のご理解とご協力の程よろしくお願ひ申し上げます。

日本身体障害者団体連合会事業所
(お問い合わせ) 電話(フリーダイヤル)
0120-263-323

第66回三重県身体障害者福祉大会

日 時 令和2年11月8日(日)(受付9時30分から)
式典 10時30分～11時30分
郷土芸能 11時40分～12時30分

会 場 志摩市阿児アリーナ
〒517-0502 志摩市阿児町神明1074番地14
☎ 0599-43-7000 FAX 0599-43-7003

第24回日身連中部ブロック 身体障害者相談員研修会

日 時 令和2年10月21日(水)～22日(木)
14時開会(受付13時から)

場 所 金太郎温泉(富山県魚津市天神野新6000)